建設委員会記録

［第１日目］

１	日　　時	平成３１年３月１４日（木曜日）
		開　　会　　　午前　９時５７分
		散　　会　　　午前１１時　３分
２	場　　所	第４委員会室
３	出席委員	８人

委員長	村家　　博
副委員長	尾上一彦
委　員	岡部　　享
〃	石森正二
〃	押田大祐
〃	小西直樹
〃	松尾　　茂
〃	五本幸正

４　欠席委員　１人

委　員	横野　　昭

5　説明のため出席した者

【活力都市創造部】

部長	高森　長仁
理事（活力都市創造担当）	後藤　衛
部次長（技術担当）	中村　雅也
部次長	舟田　安浩
参事（建築指導課長）	粟島　正憲
活力都市推進課長	金山　英樹
都市計画課長	狩野　雅人
中心市街地活性化推進課長	堀田　英樹
居住対策課長	高森　隆
交通政策課長	村井　真哉
富山駅周辺地区整備課長	山﨑　哲志
路面電車推進課長	高田　秀昭
都市再生整備課長	守山　裕一
活力都市推進課主幹（調整担当）	卜蔵　雄治

【建設部】

部長	中田　信夫
建設技術統括監	植野　芳彦
部次長	高野　聡
部次長（技術担当）	山元　政彦
参事（営繕担当）	永川　武
参事（建設政策課長）	笹岡　覚
道路河川整備課長	酒井　正道
道路河川管理課長	奥田　孝治
橋りょう保全対策課長	深山　隆
公園緑地課長	村田　友康
防災対策課長	前田　剛
市営住宅課長	梅沢　宗仁
営繕課長	佐藤　英子
土木事務所長	高松　信太郎
土木事務所管理課長	増山　和弘
土木事務所建設課長	渡辺　政司
建設政策課主幹（調整担当）	伊林　政幸

6　職務のために出席した者

【議会事務局】

議事調査課長	福原　武
議事調査課主任	平野　霞
議事調査課主事	北山　栞

７　会議の概要

委員長　　　時間前でございますが、ただいまから、平成３１年３月定例会の建設委員会を開会いたします。

横野委員から都合により欠席するとの連絡がありましたので、御報告いたします。

審査に先立ち、委員会記録の署名委員に、小西委員、松尾委員を指名いたします。

なお、ただいま指名いたしました署名委員が欠席の場合は、当日出席の年長委員にお願いいたします。

当委員会に付託されました、各案件の議案の審査については、各部局単位とし、お手元に配付してあります、委員会審査順序のとおり行う予定であります。

本日は、活力都市創造部、建設部の補正予算分の議案の審査を行いますが、質疑については、議案に直接関係あるものだけにお願いいたします。

なお、委員及び当局の皆さんに申し上げますが、質疑・答弁及び説明については、簡潔・明瞭に行っていただきますようお願いいたします。

これより、活力都市創造部所管分の議案の審査を行います。

議案第６２号　平成３０年度富山市一般会計補正予算（第４号）、第１条歳入歳出予算の補正、歳出第８款土木費中、活力都市創造部所管分、第３条繰越明許費の補正、第８款土木費中、活力都市創造部所管分、第４条債務負担行為の補正中、活力都市創造部所管分を議題といたします。

これより、当局の説明を求めます。

活力都市創造部長　〔挨拶〕

活力都市創造部次長　〔議案第６２号中
活力都市創造部所管分の概要について、
議案説明資料により説明〕

活力都市推進課長　〔議案第６２号中
都市基盤整備基金について、
議案説明資料により説明〕

都市計画課長　〔議案第６２号中
都市計画基礎調査事業について、
議案説明資料により説明〕

交通政策課長　〔議案第６２号中
生活交通維持補助事業について、
議案説明資料により説明〕

富 山 駅 周 辺 地区整備課長　〔議案第６２号中
富山駅周辺地区南北一体的なまちづくり事業（駅周辺等整備）について、
議案説明資料により説明〕

路面電車推進課長　〔議案第６２号中
富山駅周辺地区南北一体的なまちづくり事業（路面電車南北接続第２期）について、
富山港線路面電車事業について（債務負担行為の廃止）、
ＬＲＴネットワーク形成事業費について、
議案説明資料により説明〕

中心市街地活性化推 進 課 長　〔議案第６２号中
水辺の映像祭作品ライブラリ設置事業について、
議案説明資料により説明〕

居住対策課長　〔議案第６２号中
まちなか居住推進事業について、
公共交通沿線居住推進事業について、
通学定期補助事業について、
八尾地域滞在型体験施設整備事業について、
議案説明資料により説明〕

活力都市創造部次長　〔議案第６２号中

平成３０年度繰越明許費について、
議案説明資料により説明〕

委員長　　　　これより、質疑に入ります。
質疑はありませんか。

小西委員　　　議案説明資料２ページの都市基盤整備基金についてですけれども、今年度末の見込み残高が２４億９，７００万円余りということです。これは来年度に、取崩しとか充当をすると思いますけれども、その金額などをお聞きしたいのです。

活力都市推進課長　平成３１年度の見込みでは、１１億７，０００万円を取り崩す予定としております。
富山駅周辺整備事業、路面電車南北接続事業等に充当する予定になっております。

小西委員　　　議案説明資料８ページのＬＲＴネットワーク形成事業費で、国庫補助事業の内示減ということで１，０００万円のマイナス補正、それから１０ページのまちなか居住推進事業費、これは補助申請件数の減ということでマイナス補正になっているわけですね。それから１１ページの公共交通沿線居住推進事業費も５２５万円―当初予算の約２％ですけれども―

減となって、これも補助申請件数の減というふうになっているわけです。
これは当初の見込みよりも申請件数が少なくなったということですが、実際、原因はどこにあるのでしょうか。

居住対策課長　まず、議案説明資料１０ページのまちなか居住推進事業費につきましては、補助金で１，５００万円の減ということですけれども、今年度完成見込みであった大規模な分譲マンションにつきまして、当初お聞きしていた完成時期から若干後ろにずれ込んだために、これを取得されて住まわれる方の補助金であるまちなか住宅取得支援事業補助金申請が、それに伴って後ろにずれてきたことから、本年度の補助分は見込みより少し少なくなっているということが主な理由でございます。
それから議案説明資料１１ページの公共交通沿線居住推進事業費の補助金につきましても、大体同じような状況がございまして、当初お聞きしていた時期よりも完成時期が若干ずれてきているということが原因というふうに考えております。

小西委員　そうしましたら、来年度はまた申請が復活するというか、それを見込んで当初予算に組み

入れているわけですか。

居住対策課長　来年度当初予算には、それを見込んで計上しているというところでございます。

押田委員　今、申請件数の減の話が出ましたので、私も議案説明資料１２ページの通学定期補助事業についてお伺いしたいと思います。
以前も聞いたのですけれども、通学定期補助事業というのは、富山市にできるだけいていただいて、県外－主に金沢市だったと思うのですけれども、こちらに居住しながら通ってくださいという事業だったと思うのですが、補助金が４８０万円と大きく減っております。それに関して、今どのような利用状況になっているのか、またその原因はどのようなものなのかということを教えていただけませんか。

居住対策課長　まず、この事業の利用状況ですけれども、事業開始の平成２７年度からことしの２月末時点でございますが、前年度からの継続利用と新規利用者を合わせた各年度ごとの合計をしたところ、５９８人の方に御利用をいただいております。
うち今年度につきましては、これも２月末時点でございますけれども、新規利用者が９１

名、それから前年から継続して御利用いただいている方が９６名、合わせて１８７名の方に御利用いただいているところでございます。減額の主な要因といたしましては、当初予算の編成時には、前年度までの利用者が継続利用するということを念頭に予算計上させていただいております。継続して利用される方が当初の見込みよりも少なくなったことが、今回の補正の主な要因というふうに考えております。

押田委員　前回聞いたときに、継続利用者数が若干ずつ右肩に下がっているという話も聞いてはいるのですけれども、今後どのような感じでこの補助事業を進めていくのか、展望を教えてください。

居住対策課長　今後につきましては、昨年度に調査をさせていただいて、報告させていただいておりますが、ひとり暮らしを始めるなど、この通学定期補助を継続して利用しなくなる学生が約半数ほどいるということがわかっております。それから、本事業によって卒業後の居住地や就職先に影響を与えたとする意見が、実は半数にも満たなかったというようなことがわかってまいりました。

この事業は、補助金交付を開始して今年度末で４年が経過いたします。１年生から継続して利用された学生がことし卒業されるということですので、卒業後の居住状況などを調査いたしまして、事業効果の検証、あるいは今後の事業の継続について検討してまいりたいというふうに考えております。

押田委員　できれば富山市の人口を減らしたくないということもありますので、もし検討されるにしても、新たな策を何か生み出して、できるだけ富山に住み続けていただけるような施策をお願いしたいと思います。

委員長　要望ですね。

石森委員　議案説明資料４ページをお願いします。生活交通維持補助事業の補正の内容で、地域自主運行バス事業補助金が車両修繕費等で増えているということなのですが、どのような修繕が行われたのかお聞かせいただければと思います。

交通政策課長　補正額約３７０万円のうち、まいどはやバスの車両修繕で約２７０万円余りございます。こちらは平成２６年に購入した車両なのです

が、４台ございまして、やはりクラッチの交換であるとか、あるいは電気系統のトラブルということで修繕が発生しております。
あともう１件が、水橋地域の地域自主運行バスで１０３万円余りということで、平成２２年に購入した車両が１台ありますけれども、こちらのほうも今年度の上半期にエンジン系のトラブルが多く発生しまして、多額の修繕費がかかったというような状況です。

石森委員　３７４万２，０００円の補正ということで、当初想定されなかった中での修繕ではなかろうかと思うわけです。以前の委員会でも、１台当たりのバスの走行距離とか年数等々である程度の線引きをしておられるわけですけれども、車に限らず、購入したものに、言葉は悪いけれども当たり外れというのはあって、やはり修繕が思いのほか―まして、平成２２年というと９年運行しているので、水橋地域のバス等々はある意味耐用年数に近づいてきているという中で、あまりきっちりとした線引きをせずにやらないと、こういった突発的な修繕というのが出てくるケースもあります。当然しっかりと管理をされているとは思うのですが、やはり市民の方がお乗りになるバスですので、あまりそういった規格どおり―費

用対効果のこともありますけれども、その辺のところを踏まえての管理をしていただけないかと思うのです。
そのあたりについて御意見をお聞きしたいと思います。

活力都市創造部長　今、委員から御指摘のとおり、やっぱりコミュニティバスは安全・安心というのが第一だと思っております。トラブルによって危険になることもあるでしょうし、運行が中断されることも当然考えられますので、御指摘のように一応基準は設けていますけれども、修理できるものは修理、あるいは更新しなければいけないものは更新も含めて、これからも柔軟に対応していきたいと思っております。

石森委員　その前に質問しなければいけないことが１つあって、その修繕ですけれども、突発的なこともあると先ほどお聞きしました。まさか運行中に云々ということはないかと思いますけれども、どういうタイミングで修繕されたのかお聞かせいただければと思います。

交通政策課長　運行は交通事業者に対して委託しているものですから、トラブルが発生すれば、当然引き続いての運行はできないので、代車などを手

配された上で対応されていると聞いております。かかった修繕費に対しては市が１００％支援するということを要綱で定めておりますので、しっかりと補助しているという状況です。

石森委員　すみません、ちょっと質問の仕方が悪かったです。それによって、バスがとまって市民の皆さんに御迷惑をかけたというような障害等々はなかったのでしょうか。

交通政策課長　急にそういったトラブルが発生することで、例えば、バス停でお待ちになっていた御利用の方々への周知がどうしても遅れてしまうとか、あるいは代車が来たのだけれども、ステップが非常に高くてなかなか乗りにくいとかという話はいろいろと伺っております。それも含めて、先ほど部長が申したとおり、総合的な判断で更新については考えていきたいということです。

石森委員　要望ですが、部長がおっしゃったとおり、今後ともしっかりと管理をしていただいて、運行のほうをよろしくお願いしたいと思います。

松尾委員　南北一体的なまちづくり事業のことで、事業

内容について、注目度が高いという意味でお聞かせいただければと思うのですけれども、初めに、議案説明資料５ページの事業内容とはどういったものかお聞かせいただきたいです。

富山駅周辺地区整備課長　今年度は、あいの風とやま鉄道の高架化事業ということで当初から予算要求しておりまして、駅務施設の整備ですとか、それに関する電気施設の整備―この間、３月４日に高架化切りかえを迎えたのですけれども、そういったもの、あとは、この後撤去等も必要になりますので、軌道の線路施設の撤去というものを当初予算で見込んでおります。

松尾委員　もう１点ですけれども、今度は議案説明資料６ページの路面電車南北接続第２期についての３（２）交通サービスインバウンド対応支援事業の中の備品購入費で、車両改良に必要となる車載装置購入とありますが、車載装置とはどういったものなのかお聞かせいただきたいです。

路面電車推進課長　今、路面電車南北接続事業を実施しておりまして、現在、施設の整備をしておりますが、軌道がつながりますと、走行している環境と

異なった環境を車両が走行することになりますことから、車両の改良が必要になってまいります。

車両の改良の内容につきましては、例えばセントラムが今後富山駅北側の富山港線を走ることになりますので、鉄道区間を走ることになります。鉄道区間を走るには、自動列車停止装置（ＡＴＳ装置）の設置がまず必要になってまいります。そういったことがありますし、あとは旅客案内システムがあります。今、乗車いただいたら、いろいろな情報がモニターで出てくるようになっていますが、そういったものや、さらに音声案内といったものの改良が必要になってきます。

ちょっと細かい話になりますが、信号の制御システムの中で、あらかじめ車載装置に進路設定をしまして、信号施設に情報交換できるようなシステムになっていまして、そういった進路設定、そして車載装置がどのように移動しているかというような位置情報も記録できるような装置がございまして、そういったものでの運行状況の記録などとなっております。

小西委員　　議案説明資料１３ページの八尾地域滞在型体験施設整備事業ですけれども、この補正で当

初予算の３分の２が減額になっているわけです。２，６００万円のマイナスということですが、この事業は今年度進まなかったので来年度に繰越するとか、そういう意味での減額なのでしょうか。あまりにも大きな減額なものですから。

居住対策課長　この事業につきましては、国の補助金を前提として事業を進めることとしております。
本年度の国費の充当につきましては、実施設計などへの充当はなかったのですけれども、企画調査ということで、基本計画ですとか改修計画の策定といった調査費については充当がありましたことから、そういったことを今年度実施しております。
それから、３棟の空き家の購入につきましても、国の補助を受けることができましたので、そういったことを今年度はやってまいりました。
当然、国の補助金を前提としておりますので、その状況により進捗状況は変わってくるかもしれませんけれども、最終的に私どもが開業を目指している平成３２年というのは、特にこの影響で後ろへずれていくというふうには考えておりません。

五本委員　議案説明資料１４ページの平成３０年度繰越明許費について、下から５番目、富山港線軌道施設整備（その１）工事等の中に富山駅周辺の他の事業との工程調整に不測の日数を要したと書いてあるわけでありますけれども、これは単純にこれだけが理由なのですか。
単純に不測の日数を要したからということで、９億２，０００万円ほど減となって、翌年度に繰越しになっていくと―どれだけ繰越しされてもいいのだけれども。

路面電車推進課長　路面電車南北接続事業につきましては、来年の完成に向け事業を進めさせていただいております。
今現在は、ちょうどまさに、あいの風とやま鉄道の高架下の工事をやっておりまして、今年度の補正予算で、広場部分の工事につきましても実施するということで、予算を取らせていただきました。
ただ、さきの３月４日にあいの風とやま鉄道の高架化切りかえが終わりました。ようやく仮の線路の撤去ができるような状況になっていまして、現実的には、その撤去が終わらないと広場部分の工事ができないというようなところがございます。そのようなことからもう既に契約している事業費について、次年度

に繰越しをさせていただいたところでございます。

五本委員　よくわかりました。大体それなりの理由なのだけれども、私が一番心配しているのは一路面電車推進課長の説明の中には、整合性が保たれないという面もありましたけれども、実際は大手３社でやっている事業ですよね。
そこで、何でこうなるかというと一私は魚屋だからよくわからないけれども一レールをつくる鉄骨が、どうも不足していると専らの噂ですよ。御存じでしょう、専門分野だと思いますので。
ここまで市長が旗を上げてやってきていて、これで来年の３月にできなかったら大変なことになりますが、このレールをつくる鉄骨の不足について何か考えておられるのですか。

活力都市創造部次長　レールにつきましては、御存じのとおり海外でつくっているものでございます。海外から船便で送ってくるわけですけれども、そちらの手配についても、外国のほうからはほぼ了解をいただいておりますので、今の国内の鉄骨の不足とか、そういったものの影響はございません。その辺は十分対応できていると思っています。

五本委員　　最後に、意見は言いませんけれども要望しておきます。上辺へ非常に出ている話が、「レールできるかの、レールできんだらどうしよう？」と、こういう話でいっぱいであります。次長の頭の中ではきちんとなっていると思いますが、この話のとおりにならないように整備していただきますよう要望しておきます。

委員長　　ほかにないようですので、これをもって、議案の質疑を終結いたします。
これより、議案第６２号中活力都市創造部所管分の討論に入ります。
討論はありませんか。

小西委員　　ただいま議題になっております議案第６２号について、反対討論を行います。
議案説明資料１ページの１、都市計画総務費のうち、都市基盤整備基金費積立金について反対します。
今回の補正で、都市基盤整備基金に４億２，０００万円を積み立て、補正後の額が１０億２，０００万円、また、平成３０年度末の基金残高見込みが２４億９，７００万円余りになるものです。
将来の都市基盤整備を行うに当たり、事業費の平準化を図るために基金を積み立てること

が目的ですが、基金の取崩し先は、例えば平成３１年度当初予算のまちなか居住推進事業費では、分譲マンションの住宅取得補助に１戸当たり５０万円が２５０戸分、富山駅前宝町のアパグループが売り出すプレミア富山駅前レジデンス等の共同住宅取得補助として、１戸当たり５０万円が５０戸分で２，５００万円、まちなか再生推進事業費として、中央通りＤ北地区の２６階建ての高層マンションを含む大規模な再開発事業建設などに充てられるとのことです。

私たちは、富山駅の路面電車南北一体化事業など、この基金を充当する事業全てに反対するものではありません。

大手マンション業者が開発する高層マンション事業に、これ以上、市民の大切な財源を投入する必要はないというふうに考えるからです。

この基金は、条例で都市基盤整備に関する事業に使途が限られています。基金として積み立てるなら、防災、災害の備えや公共施設などの整備、生活道路や上下水道設備の改修・整備などに積み立てるべきです。

以上のことから、都市基盤整備基金への４億２，０００万円積立てに反対いたします。

委員長　　　ほかに討論は、ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長　　　これをもって、討論を終結いたします。
これより、議案第６２号中活力都市創造部所管分を挙手により、採決いたします。
本案件について、原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

委員長　　　挙手多数であります。
よって、本案件は原案可決されました。
以上で、活力都市創造部所管分の議案の審査を終了いたします。
活力都市創造部の皆さんは、退室願います。
説明員を交代いたしますので、しばらくお待ちください。

〔活力都市創造部退室／建設部入室〕

委員長　　　これより、建設部所管分の議案の審査を行います。
議案第６２号　平成３０年度富山市一般会計補正予算（第４号）、第１条歳入歳出予算の

補正、歳出第８款土木費中、建設部所管分、第１１款災害復旧費中、建設部所管分、第３条繰越明許費の補正、第８款土木費中、建設部所管分、第１１款災害復旧費中、建設部所管分、

議案第７５号　富山市栗原路子記念熱帯鳥類保全事業基金条例制定の件、

議案第８０号　工事請負変更契約締結の件（八田橋（下流側）架替工事）、

以上３件を、一括議題といたします。

これより、順次、当局の説明を求めます。

建設部長　〔挨拶〕

建設部次長　〔議案第６２号中
建設部所管分の概要について、
議案説明資料により説明〕

防災対策課長　〔議案第６２号中
防災事務費について、
議案説明資料により説明〕

土木事務所建設課長　〔議案第６２号中
道路維持管理費について、
道路橋りょう災害復旧事業費について、
議案説明資料により説明〕

道路河川管理課長　〔議案第６２号中
雪対策事業費について、
リフレッシュ事業費について、
河川水路維持補修事業費について、
議案説明資料により説明〕

道路河川整備課長　〔議案第６２号中
市道整備事業費について、
河川水路整備事業費について、
浸水対策事業費について、
火防水路改良事業費について、
急傾斜地崩壊対策事業費について、
街路整備事業費について、
道路景観形成事業費について、
議案説明資料により説明〕

橋りょう保全対策課長　〔議案第６２号中
橋りょう維持補修事業費について、
議案説明資料により説明〕

公園緑地課長　〔議案第６２号中
公園整備事業費について、
花と緑の推進事業費について、
栗原路子記念熱帯鳥類保全事業基金費について、
議案説明資料により説明〕

市営住宅課長　〔議案第６２号中
市営住宅管理費について、
議案説明資料により説明〕

公園緑地課長　〔議案第７５号について、
議案書により説明〕

橋りょう保全対策課長　〔議案第８０号について、
議案書により説明〕

委員長　これより、質疑に入ります。
質疑はありませんか。

押田委員　先ほど、公園緑地課長から言われましたけれども、栗原さんという方から多額の寄附金をお受けになられたようですが、どういったいきさつなのか御説明いただけませんでしょうか。

公園緑地課長　まず、平成２８年に日本動物園水族館協会から富山市ファミリーパークに対しまして、密輸の摘発で押収されたインコ数種類の飼育照会があったため、生物多様性の観点からオキナインコ４羽を譲り受け、飼育繁殖したことから始まります。
これとは別に、栗原様自身がオキナインコ１

羽を保護して飼っておられましたが、もともとオキナインコは集団で生活するため、どこかの施設に入れたいと考えておられたそうです。そこで、埼玉県にある狭山市智光山公園こども動物園の知合いの獣医に相談したところ、園長から、オキナインコを飼育している７施設のうち、繁殖実績がある富山市ファミリーパークにお願いしたらどうかと回答をいただいたとのことで、平成３０年５月初旬に栗原様より富山市ファミリーパークにオキナインコ１羽の寄附の連絡がありまして、５月３０日にわざわざオキナインコを持ってきてもらい、寄附していただいたものです。
当日はオキナインコが鳥かごに移されたのを見て帰っていかれたのですが、その後、年末の１２月２８日に再度連絡がありまして、鳥舎の建設などに使ってほしいと寄附金の申入れがあったものでございます。

押田委員　大変数奇なストーリーが出てきたような気がするのですけれども、実際にこの寄附金をいただいて、鳥舎の整備というのはいつごろ取りかかって、完成予定はどれぐらいになるのか教えてください。

公園緑地課長　現在は寄附が決まったばかりで、白紙の段階

なものですから、構成等についてこれから詰めていきたいと考えております。
こちらの思いといたしましては、来年度中には着手してまいりたいと考えているところでございます。

委員長　　ほかにないようですので、これをもって、議案の質疑を終結いたします。
これより、議案第６２号中建設部所管分、議案第７５号、議案第８０号、以上３件を一括して討論に入ります。
討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長　　討論なしと認めます。
これより、議案第６２号中建設部所管分、議案第７５号、議案第８０号、以上３件を一括して採決いたします。
各案件は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長　　御異議なしと認めます。
よって各案件は、原案可決されました。

次に、議案第８７号　土地取得の件を議題といたします。
これより、当局の説明を求めます。

公園緑地課長　〔議案書により説明〕

委員長　これより、質疑に入ります。
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長　ないようですので、これをもって、議案の質疑を終結いたします。
これより、議案第８７号の討論に入ります。
討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長　討論なしと認めます。
これより、議案第８７号を採決いたします。
本案件は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長　御異議なしと認めます。

よって本案件は、原案可決されました。
以上で、建設部所管分の議案の審査を終了いたします。
これで、３月定例会の当委員会に付託されました、補正予算等分の議案の審査は終了いたしました。
委員各位に、御相談申し上げます。
委員長報告については、正・副委員長に御一任願いたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長　それでは、そのように取り計らいます。
お諮りいたします。
本日の委員会はこの程度にとどめ、散会いたしたいと思います。
これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長　御異議なしと認めます。
明日、３月１５日（金曜日）は、午前１０時から委員会を開き、消防局、活力都市創造部所管分の当初予算等分の議案の審査などを行います。
本日はこれをもって散会いたします。